

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 「尿中L型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP)」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、標記項目につきましては本年6月より測定試薬をCLEIA法による試薬に変更させていただきますので、取り急ぎご案内致します。本変更により検出感度が向上するとともに、検査所要日数の短縮が可能になりました。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 対象項目 / 変更内容

##### ● [25427] 尿中L型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP)

変更内容	新	旧
項目コード	26654	25427
検査方法	CLEIA [富士レビオ]	EIA [シミックホールディングス]
保存方法	冷蔵	凍結 (-20℃以下)
報告上限	濃度 200,000 ng/mL 以上	濃度 ∞
報告下限	濃度 0.50 ng/mL 未満	濃度 1.5 ng/mL 未満
報告形態	濃度 小数2位、有効5桁	濃度 小数1位、有効3桁
所要日数	3~4日	3~6日
備考	クレアチニン補正值 ( $\mu\text{g/g}\cdot\text{Cr}$ ) および濃度 (ng/mL) をご報告致します。 濃度が0.50ng/mL未満の場合は、 <u>0.50ng/mL</u> を用いてクレアチニン補正し、未満を付記してご報告致します。	クレアチニン補正值 ( $\mu\text{g/g}\cdot\text{Cr}$ ) および濃度 (ng/mL) をご報告致します。 濃度が1.5ng/mL未満の場合は、 <u>1.5ng/mL</u> を用いてクレアチニン補正し、未満を付記してご報告致します。

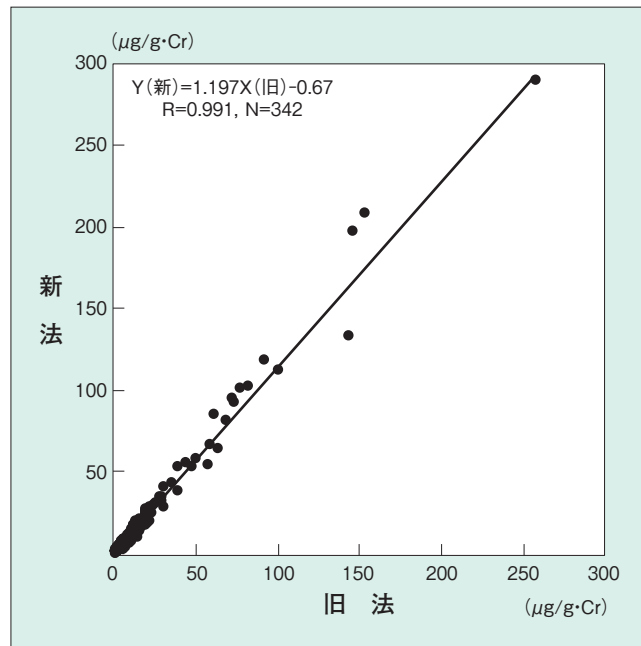
※ 検体量・基準値等の検査要項に変更はございません。

#### 変更期日

##### ● 平成28年6月1日 (水) 受付日分より



## 新旧二法の相関



(社内検討データ)

## 参考文献

富田健一郎, 他 : 医学と薬学 72 : 1389-1395, 2015. (検査方法)

Kamijo-Ikemori A, et al : Diabetes Care 34 : 691-696, 2011. (基準値引用元)